

地域資源を活用する**スキンケア商品企画**・小売業のブランド構築と販路拡大支援

事業者	支援機関・協力機関
沖縄子育て良品株式会社	中小企業基盤整備機構 沖縄事務所

企業の概要

平成16年に設立した乳幼児と母親向けの雑貨やスキンケア商品の企画・小売業。沖縄特有の天然素材を活用し、安全・安心をコンセプトに商品開発・販売を行う。売上高8,700万円。従業員12名は全員女性で半数以上は当社ユーザーだったことも特徴。

支援の概要

◆ 支援の経緯

平成21年に子供向けスキンケア商品を伸ばしたいと、機構沖縄事務所に相談があった。沖縄特有の月桃、海洋深層水、クチャ（泥岩）を活用する構想を持っていたため、「地域資源活用事業」の申請を提案し、ブラッシュアップ支援を行った。平成22年10月に地域資源活用事業計画の認定を受けたため、フォローアップ支援を開始した。

◆ 経営課題へのアプローチ

- ①地域活性化アドバイザー派遣によるブランド基本戦略とブランド計画策定支援
商品群マップを作成して既存商品・新商品のポジショニングを行った結果、社名と商品ブランドを統一化し、認知度アップを加速させた。
- ②季節変動の大きい商品群を管理するための計画策定支援
夏向けに偏った品揃えであることから、通年売上を見込める品揃え拡大を支援。さらに販売計画・資材調達計画・資金繰計画などにより経営を管理する必要性をアドバイスした。
- ③県内外販路獲得とPR活動支援
バイヤーとの接点を増やす展示会の紹介、県内顧客の創造を目的とした記者発表、さらにブランド発信の拠点となる自社店舗の売場構築を支援した。

◆ 支援成果

- ①統一ブランドのもとに、通年売上が見込める商品ラインナップ拡大
- ②県外卸中心だった販路が、直営店舗や自社通販、県内薬局ルートなどに拡大
- ③認定当時の売上高4,000万円→8,700万円（平成28年1月期）
- ④従業員数5名→12名に増員

注目ポイント

◆ 事業展開の要となるブランディングを中心にした支援

沖縄の地域資源に着目して独自の商品開発を図っている当社の経営資源をさらに強化するため、ブランディングが基本となると見定め、それを中心に支援策を構築した。

◆ 課題に合わせた各種支援リソースの活用

ブランディングや販路開拓などの課題に合わせて、中小機構が持つ多彩な支援策、専門家派遣を活用した。